

## 令和元年度 道路に面する地域の環境騒音調査結果

令和元年度に国道1号線等10路線において騒音の測定、評価を行った結果、全体で昼夜とも環境基準に適合した戸数の割合は、約95.2%でした。

	昼間・夜間とも基準値以下		昼間のみ基準値以下		夜間のみ基準値以下		昼間・夜間とも基準値超過	
	戸数	割合(%)	戸数	割合(%)	戸数	割合(%)	戸数	割合(%)
全戸数 (29,726戸)	28,308	95.2	592	2.0	6	<0.1	820	2.8
道路に接する区域 (10,277戸)	9,168	89.2	401	3.9	0	<0.1	708	6.9
道路に接しない区域 (19,449戸)	19,140	98.4	191	1.0	6	<0.1	112	0.6

※評価の方法： 対象道路を、交通量などが概ね一定とみなされる区間に区切り、その区間内の両側50mの範囲に立地する住居系建物のうち、その区間内の両側50mの範囲に立地する住居系建物のうち、走行する自動車から受ける騒音レベルが環境基準を満足している建物の戸数割合を算出。

※環境基準類型：  
 Iをあてはめる地域：主として住居の用に供される地域  
 IIをあてはめる地域：商工業の用に供される地域等I以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域